

事業	5	認知症高齢者等支援事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】(円)

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
1,693,000	1,245,491	261,554	491,969	245,984	0	245,984

【決算額の節別内訳】(円)

08	報償費	212,213	09	旅費	23,120
11	需用費	695,158	14	使用料及び賃借料	315,000

【実施計画の概要】

事業の内容	認知症に関する正しい知識を普及するための啓発活動を実施します。また、地域での相談、支援体制を強化するための認知症コーディネーターの配置、並びに早期診断・早期対応を促進するための医療・介護等におけるネットワーク形成など、認知症対策推進のための事業を実施します。
事業の目的	啓発活動により、認知症を理解し、認知症の人と家族を地域で温かく見守る人を増やします。また、認知症の早期診断、早期対応を促進するための医療・介護等におけるネットワークの構築により、認知症の重症化の抑制に繋がります。
事業の効果	認知症の人やその家族を支援するための各種事業を実施することで、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる「認知症にやさしい佐倉」を実現します。

【事業の概要】

- ・認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ・「認知症にやさしい佐倉」啓発週間(9月17日～9月27日)において、市役所1号館1階ロビーで啓発展示を実施しました。
- ・介護中であることを周囲に知らせるための「介護マーク」を配布しました。
- ・行方不明時の捜索・保護の手掛かりとなる「SOSステッカー」を配布しました。
なお、ステッカーの使用にあたっては、認知症等により行方不明となるおそれのある方の身体的特徴(写真)や緊急連絡先等の届出を必要としました。(件数34件)
- ・佐倉市認知症地域ネットワーク医療介護連携推進協議会(略称:佐認会)と共に、さくらパス(佐倉市認知症地域連携ネットワークパス)を作成・活用して、認知症の早期診断、早期対応を図りました。

【活動指標・成果指標】

指標名	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
認知症サポーター養成講座参加人数	1,560 人	2,028 人	1,947 人
認知症サポーター養成講座開催回数	36 回	49 回	40 回
認知症啓発講演会等参加人数	461 人	32 人	416 人
佐倉市認知症地域ネットワーク医療介護連携推進協議会	4 回	6 回	2 回